

東日本高速道路株式会社 北海道支社
支 社 長 堀 圭一

質問書に対する回答

(工事名) 道東自動車道 トマム南富良野地区下部工工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	トマム橋下部工図P53/63 山留材料表のカバープレート（山留腹起し材のジョイントプレート）は腹起し材と同様に、通常はリース材ですが使用後は全損（スクラップ）とのお考えでしょうか。ご教示ください。	リース材となります。後日、設計図書を訂正いたします。
2	トマム橋下部工図P63/63 山留材料表のカバープレート（山留切梁・腹起し材のジョイントプレート）は切梁・腹起し材と同様に、通常はリース材ですが使用後は全損（スクラップ）とのお考えでしょうか。ご教示ください。	リース材となります。後日、設計図書を訂正いたします。
3	擁壁工図P3/33～6/33 鋼管擁壁工アンカー部材表記載の設計アンカー力110kN・120kN・140kN・160kNは、数量計算書の設計アンカー力と異なっていますが、①この記載の数値は何を表していますか。全体の設計アンカー力でしょうか。②数量計算書の数値で考えるのでしょうか。③アンカー材料は参考図記載の通りの仕様で宜しいでしょうか。ご教示ください。	①設計アンカー力は以下が正となります。 後日、設計図書を訂正いたします。 グラウンドアンカーA 99kN グラウンドアンカーB 225kN グラウンドアンカーC 394kN グラウンドアンカーD 439kN グラウンドアンカーE 505kN グラウンドアンカーF 783kN グラウンドアンカーG 764kN ②③ご認識の通りです。
4	特記仕様書P36 オープンケーソン工の（2）適用すべき諸基準の記載がありますが、準用すべき積算基準はどれを想定していますか。ご教示ください。	積算に関する質問のためお答えできません。

番号	質問事項	回 答
5	特記仕様書P36 オープンケーソン工の（２）適用すべき諸基準の記載がありますが、その基準を満足する工法であればどの協会等の施工方法でも、宜しいでしょうか。ご教示ください。	ご認識の通りです。貴社の施工計画に基づきお考え下さい。
6	コンクリートB1-2（A）、X1-1は公表された材料価格にそれぞれ冬期割増を計上しますか。ご教示ください。	貴社の施工計画に基づきご判断下さい。なお、冬期割増費用については令和7年4月付け「北海道支社管内 土木工事設計材料単価表」の「トマム工区：南富良野町」および「トマム工区：占冠村」にて公表しております。
7	コンクリートX1-1は公表された材料価格に別途、混和剤と水中分離性混和剤を計上しますか。ご教示ください。	参考積算条件書に関する質問はお答えできません。
8	公表材料単価の刃口金物の金額は設置費と運搬費は含まれますか。ご教示ください。	参考積算条件書に関する質問はお答えできません。
9	オープンケーソン工の刃口金物製作費は間接工事費の率計算の対象となりますか。	積算に関する質問のためお答えできません。
10	トマム川橋下部工図P83/110、P99/110 オープンケーソン圧入装置図に圧入機材数量表（詳細仕様・数量）及び圧入桁数量表（詳細仕様・数量）、およびその図が記載されていますが、これらの機材・桁は指定品で、それに合致する協会の工法指定での見積とのことでしょうか。ご教示ください。	機材・桁等については、参考となります。貴社の施工計画に基づきお考え下さい。後日、設計図書を訂正いたします。
11	特記仕様書P33構造物用コンクリート コンクリートX1-1に使用する水中不分離性混和材の配合は、「VSL協会「VSL姿勢制御圧入ケーソン工法 標準積算資料」の関連項目に準ずるものとする。」と記載がありますが、水中コンクリート以外の圧入ケーソンの見積はVSL協会に準ずると考えるのでしょうか。ご教示ください。	積算に関する質問のためお答えできません。
12	トマム橋下部工図P62/63 トマム橋A2橋台仮設土留め工詳細図記載の盛替えコンクリートは、数量・仕様の記載が無いため、別途協議と考えるのでしょうか。もし計上とお考えならば、計上先・数量・仕様をご教示ください。	盛替コンクリートの費用は、構造物掘削 特殊部B2の単価項目に計上するとお考え下さい。 数量は37.6m ³ 、厚さは30cm、コンクリートD1-1となります。 後日、設計図書を訂正いたします。
13	トマム川橋下部工図P82/110、P98/110 圧入架台数量表に山留材との記載がありますが、単位重量は135kg/mとなっています。材料は通常のH鋼材でのお考えでしょうか。ご教示ください。	設計図に記載の H-350×350×19×12 となります。